

平成10年 8 月 7 日
原子力安全対策課
(10 - 41)
<11時記者発表>

美浜発電所 1 号機の第16回定期検査開始について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

美浜発電所 1 号機（加圧水型軽水炉；定格出力34.0万kW）は、平成10年 8 月 8 日から約 3 カ月の予定で第16回定期検査を実施する。

定期検査を実施する主な設備は次のとおりである。

- (1) 原子炉本体
- (2) 原子炉冷却系統設備
- (3) 計測制御系統設備
- (4) 燃料設備
- (5) 放射線管理設備
- (6) 廃棄設備
- (7) 原子炉格納施設
- (8) 非常用予備発電装置
- (9) 蒸気タービンおよび蒸気タービン付属設備

1. 主要工事等

(1) 1次冷却材ポンプ供用期間中検査 (図－1 参照)

1次冷却材ポンプの供用期間中検査として、2台あるポンプについて、主フランジボルト、締め付け部等耐圧部の健全性を確認するとともに、分解検査としてインペラ等の内部部品について点検する。

(2) 余熱除去系統注入ライン増強工事 (図－2 参照)

アクシデントマネジメント対策(*1)として、炉心損傷を防止するため、工学的安全注入系の再循環注入モード(*2)による長期的な炉心冷却方式の多様化として、代替再循環ポンプおよび余熱除去系統へ接続する配管を設置し、格納容器内に溜まった冷却水を炉心へ再注入する。

*1；アクシデントマネジメント対策

設計で考慮していた事故の範囲を大きく超え、炉心の損傷に至るような過酷事故（シビアアクシデント）に備え、現状の設備を有効に活用してその発生防止や発生後の影響を緩和することを考慮した対策。

*2；工学的安全注入系の再循環注入モード

1次冷却材喪失事故時、工学的安全注入系により燃料取替用水タンクのホウ酸水を原子炉内に注入するが、燃料取替用水ピット水位が低下した際には、格納容器再循環サンプに溜まった冷却水を余熱除去ポンプ等により原子炉に再注入すること。

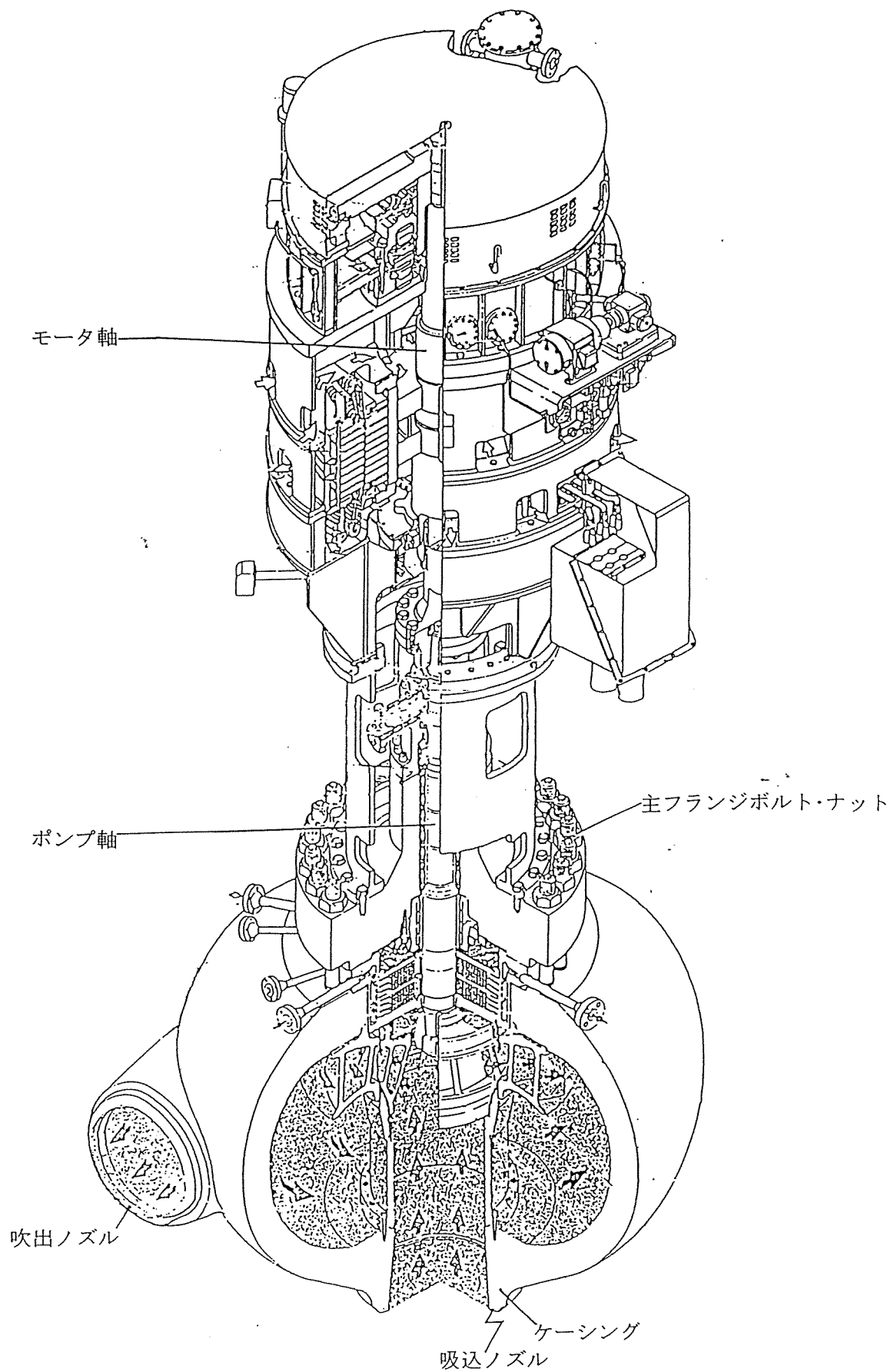
2. 燃料取替計画

燃料集合体全数121体のうち、45体（うち32体は新燃料集合体で新燃料は全て高燃焼度燃料）を取り替える予定である。

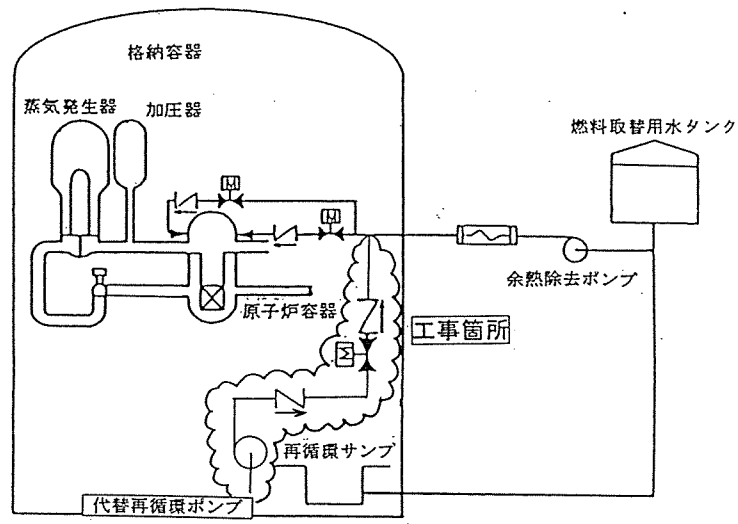
3. 運転再開予定

原子炉起動・臨界	：	平成10年10月上旬
発電再開（調整運転開始）	：	平成10年10月上旬
定期検査終了（営業運転再開）	：	平成10年11月上旬

図一 1 1 次冷却材ポンプ構造図

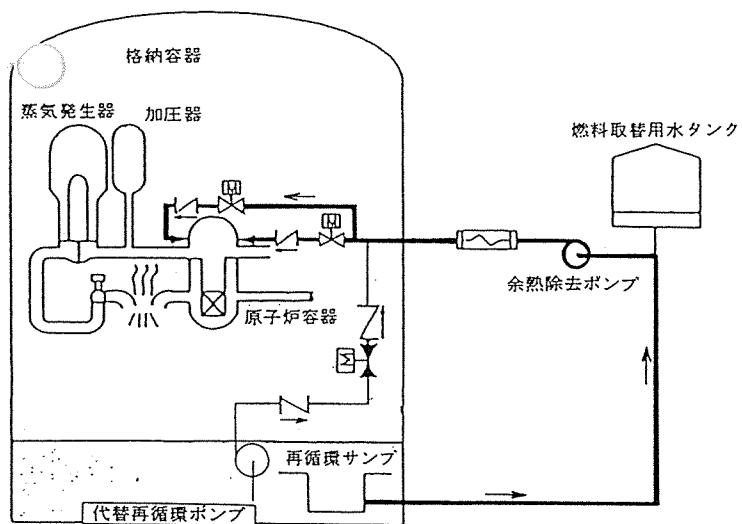


図－２ 余熱除去系統注入ライン増強工事概要図



1 次冷却材喪失事故が発生

非常用炉心冷却装置の正常作動時の炉心への冷却水の注水状態(長期冷却時)



アクシデントマネジメント時の炉心への冷却水の注水状態(長期冷却時)

